

## ある寝物語り

どうして東京さ出て来る気になった？

・・・

嫌なことがあったのか？

・・・

東京で働く気かな？

・・・うん 勉強もしたいし・・・

汽车租赁はどうした？

Kちゃんが呉れた

ゆんべはどこさ泊った？

・・・電話のボックス

寒かったんべえ！

うん

眠れたか？

・・・

家で心配してべ？

・・・

淋しいか？

うん

おふくろがいてくれたらなあ

・・・

とにかく今夜はゆっくり寝ろや

うん

人間 希望を捨てちゃ駄目だぞ

・  
・  
・

外は冬だったが

静かな風が吹いていて

そこまで春が来ているような按配だった

部屋のなかは温かかったが

肩よせ合った二つの心は

まだ乾いたままだった

ここに一組の兄と弟が

隙間風吹く四畳半に一枚布団を延べ

肩よせ合って大人しく呼吸している

窓の外は相変わらず冬の風

窓のなかにはようやく寝入った一つの吐息と

眠らぬ一つの吐息が生きていた

(一九五四・二)